

医薬品情報

2013. 1. 11 No. 354

独立行政法人国立病院機構 盛岡病院 薬剤科

エピペン注射液処方・使用時の運用手順の変更について

エピペン注射液処方・使用の際の関連書類の一部が廃止されたことから、別紙のとおりお知らせ致します。

なお、本剤の使用にあたっては登録された医師以外処方できないこととなっております。



2012年12月

エピペン注射液 登録医 各位

ファイザー株式会社

「エピペン®注射液」の処方・使用関連書類廃止のご案内

謹啓

初冬の候、先生におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、弊社は、アナフィラキシー補助治療剤「エピペン®注射液0.15mg」および「エピペン®注射液0.3mg」の製造販売承認を引き継ぐとともに、本剤を処方・使用頂く際の運用手順を見直しました。その結果、以下の処方・使用関連書類を廃止することになりましたので、ご案内致します。

【運用を廃止する処方・使用関連書類】

1. 「エピペン®注射液 処方する際の関連書類セット」中の、以下3つの連絡票：様式2
 - ✓ 処方記録票
 - ✓ 院内在庫・医師用購入連絡票
 - ✓ 返却連絡票
2. 「エピペン®注射液 院内常備・廃棄 連絡票」

処方・使用関連書類廃止後の留意事項については、裏面をご参照下さい。

2003年の本剤発売以来、今回廃止とさせて頂く各種処方・使用関連書類を用いて大変貴重な情報をご提供いただき、誠にありがとうございました。

なお、本剤を患者様へ処方頂く際には必ずインフォームドコンセントを実施頂き、「エピペン®注射液 処方する際の関連書類セット」の様式1「適正使用のための理解確認事項、適正使用同意書」にて、患者様の理解確認および同意を取得下さるようお願い致します。

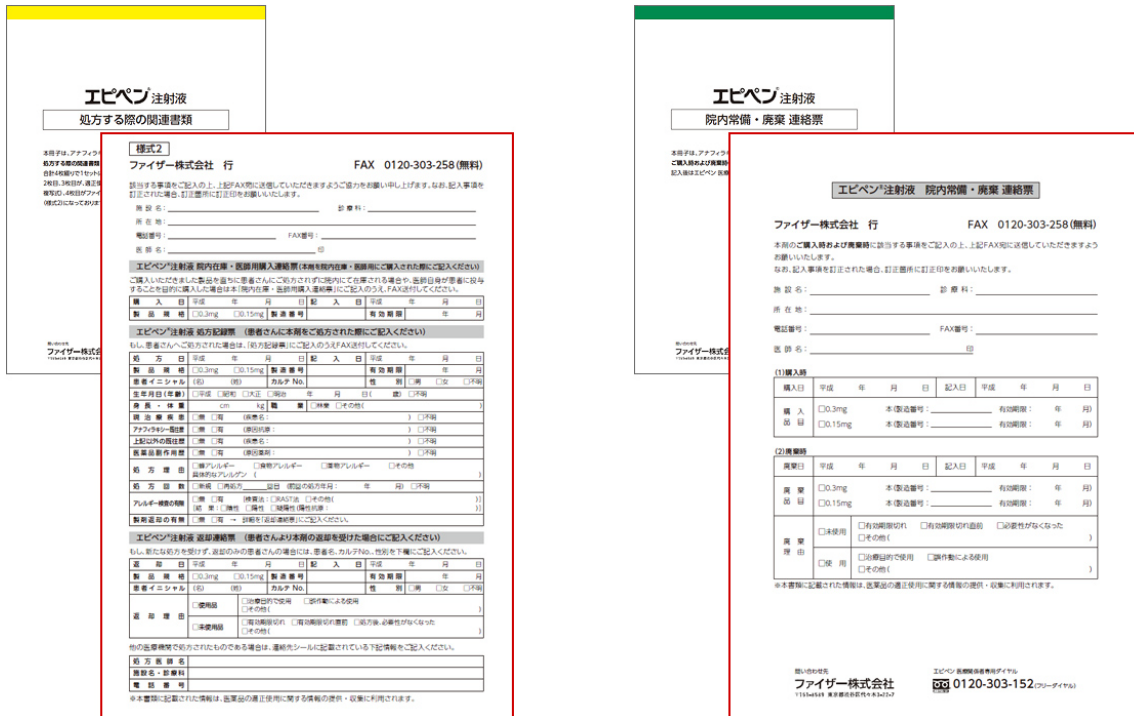
また、有効期限切れ製剤および使用済み製剤の回収／再処方にご協力をお願い致します。

今後とも倍旧のご厚情を賜りますと共に、引き続き「エピペン®注射液0.15mg・同0.3mg」をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

謹白

<廃止する処方・使用関連書類について>

この度廃止となる処方・使用関連書類を、赤枠で囲んで以下にお示ししております。



「エピペン®注射液 処方する際の関連書類セット」の「様式2」

「エピペン®注射液 院内常備・廃棄 連絡票」

(処方記録票、院内在庫・医師用購入連絡票、返却連絡票)

なお、今回の廃止に伴う「エピペン®注射液 処方する際の関連書類セット」の改訂版は、2013年1月下旬の印刷完了を予定しており、その後、順次弊社担当者よりお届け致します。

<廃止に伴うエピペン処方・使用手順の変更点について>

このご案内をもってエピペン処方・使用の手順を、以下の通り変更致します。

1. 今後エピペンを患者様へ処方頂く際に、エピペン処方登録医の先生方へご記入をお願いする書類は、「エピペン®注射液 処方する際の関連書類セット」中の「エピペン®注射液 適正使用のための理解確認事項」と「エピペン®注射液 適正使用同意書」（様式1）のみとなります。

*現在ご利用いただいている、「エピペン®注射液 適正使用のための理解確認事項」と「エピペン®注射液 適正使用同意書」（様式1）は、引き続きご利用頂けます。

2. エピペン使用登録医の先生方がエピペンを院内常備する際、また院内常備したエピペンを廃棄する際にご記入をお願いする書類はございません。

【本件に関するお問い合わせ先】

ファイザー株式会社 エピペン 医療関係者専用ダイヤル
 電話番号: 0120-303-152

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

以上